

科 目 名	相談援助の理論と方法Ⅳ					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	山 田 美 保						
開 講 年 次	3	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	本授業は、相談援助の理論と方法Ⅰ・Ⅱの知識を活用して実践する際に必要な専門技術と知識について概説する。具体的には、小集団、地域に対するソーシャルワークの技術および調査・研究、効果測定に関する内容とする。						
授 業 の 到 達 目 標	1) グループの特性と効果を説明できる。 2) グループワークの理論と方法を理解する。 3) グループワークの展開過程における支援方法を理解する。 4) コミュニティに対するソーシャルワークについて理解する。 5) 社会福祉実践における調査・研究の意義を説明できる。 6) 質的研究法の特徴および方法を理解する。 7) 社会福祉実践における効果測定の種類と方法を理解する。						
学 習 方 法	パワーポイントを使用した講義、事例検討						
テキスト及 び参考書等	テキスト：『新 社会福祉士養成講座 8 相談援助の理論と方法Ⅱ』中央法規、2009年 参考図書：相沢 譲治監修、『ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ』、(株) みらい、2010年 『新 社会福祉士養成講座 7 相談援助の理論と方法Ⅰ』中央法規、2009年						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	◎	○	○	○	80		
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	○	○	◎	10		
授業態度							
受講者の発表	○	○	◎	○			
授業への参加度					10		
その他							
合 計					100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第 1 週	オリエンテーション						
第 2 週	グループワークとは						
第 3 週	グループワークの理論						
第 4 週	グループワークの基本原則						
第 5 週	グループワークの展開過程 準備期						
第 6 週	グループワークの展開過程 開始期						
第 7 週	グループワークの展開過程 作業期						
第 8 週	グループワークの展開過程 終結期						
第 9 週	コミュニティを対象とするソーシャルワーク 1・小テスト 1						
第 10 週	コミュニティを対象とするソーシャルワーク 2						
第 11 週	ネットワーキングとコーディネーション						
第 12 週	社会福祉実践と調査・研究・小テスト 2						
第 13 週	社会福祉実践と調査・研究 - 質的調査方法 -						
第 14 週	効果測定						
第 15 週	効果測定						
第 16 週	期末試験						
備 考	受講に際しては、必ず指定テキストを持参すること。授業外学習 ・ 指定される範囲のテキスト・資料を講義前に読んでおくこと。 ・ 講義前後に配布資料・講義ノートの整理をすること。						